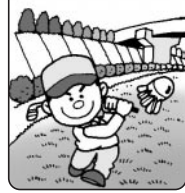


個人質問

2月定例会市議会では、三十一人の議員が、議案や市政全般についての質問を行いました。その中からいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

行財政・まちづくり



小規模工事問題

担当職員告訴の理由は

問 小規模工事問題で、組織対応ができていなかったにも関わらず、犠牲者である本市担当職員を告訴した理由と管理職員等の責任は。

答 担当者からの聴取、弁護士との相談から事件性が高いと判断したもので、捜査当局の判断を待ち事実関係を説明したい。行政執行の適性化に努めることが管理者・管理職等の責任であり、事実が解明され次第、公平・公正に具体的行為責任を問う考えだ。

監査業務の強化に向けて

問 住民監査請求の増加等監査の重要性が増しているが、監査事務局の職員体制充実を。

答 ささまざまな部署を経験し、



にぎわいの波及効果を商店街へ
(桃太郎まつり)

桃太郎まつりの経済効果

商店街へ波及を

問 商店街への経済波及効果

市の業務に精通した問題意識の高い人材の配置や、業務の専門性を考慮し、配置期間を長めにするよう配慮している。また、監査専門課程への研修派遣等により専門性を持った職員の育成・配置に努めたい。

都市計画道路

未整備延長の見直し検討へ

問 社会情勢等の変化に伴い、

都市計画道路の見直しが必要だが、将来の整備計画を示しては。

答 計画総延長の三二%に当たる未整備延長を対象に、見直しに伴う波及的問題等への対応も含め、国に相談しながら見直し作業を進めたい。今後、新たに事業着手するときは、過去の計画の妥当性を再点検する必要があると考えている。

百間川緑地

市民協働で管理

問 県から移管を受け、平成

15年度から本市が全面管理している百間川緑地の管理運営に、市民協働の手法を取り入れては。

答 現在、市公園協会や地元団体等に管理をお願いしているが、今後、市民協働の形を一層強く出すことが、ニーズ等を満たし、コスト削減にもつながる。そのため、可能なところから地元との一体管理を拡大する考えであり、中川橋上流エリアでは、グランドゴルフ協会と地元を中心とする管理に向

福祉・環境・教育



高齢者の介護予防に向け

パワーリハビリの手法導入

問 高齢者の体力維持と健康増進の事業にパワーリハビリの手法を導入するが、その概要は。

答 使い忘れた筋肉を刺激するパワーリハビリの手法の導入は、加齢による動作低下の回復など介護保険の分野で効果があると考え、概ね六十五歳以上の市民を対象に各ふれあいセンターで実施する予定だ。受講料は

け取り組んでいるところだ。

岡山総社・岡山インター間

利用料金改定要請へ

問 岡山自動車道岡山総社インター～山陽自動車道岡山インター間の利用料金を割り引く社会実験を実施したが、同区間の料金改定を図る時期は。

答 実験では通行量が一・九倍との結果が出ており、実現性が高いものと考ええる。平成16年5月末に最終報告が出た段階で、道路公団に対し、本市の意見をとりまとめ提示し、料金改定の検討を要請したい。

地域子ども教室推進事業

本市の取り組みは

問 国の地域子ども教室推進事業について、本市の具体的な取り組みは。

答 市民協働の開かれた学校づくりと同一目的のものと認識しており、枠組みとしては中学校区単位 人材については千四百人を超える学校支援ボランティア

週一回、合計十回の一単位で、二千元を予定している。